

第2回研究発表

三河川の水運の歴史

日時 平成28年
1月23日(土)

12:30~16:00
(受付 12:00~、無料)



場所 久留米市新合川1-1-3 筑後川防災施設「くるめウス」

有明海を河口に持つ筑後川、矢部川、嘉瀬川流域では、有史以来、中国大陸や朝鮮半島、国内の文化が水運により移入、移出してきました。今回は、『水運』をテーマに研究発表を行います。

基調講演 「九州の河川における水運を考える」
九州大学大学院教授 島谷 幸宏

三河川より研究発表

筑後川 「筑後川水運の歴史」
うきは市立浮羽歴史民俗資料館長
佐藤 好英

矢部川 「矢部川における水運」
柳川古文書館 学芸員 白石 直樹

嘉瀬川 「佐賀藩の水運」
佐賀大学名誉教授 長野 暹 すすむ

パネルディスカッション

コーディネーター 佐賀大学大学院教授 大串浩一郎

主催、問合せ：筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会
0942-33-2893 (古賀河川図書館内)